



ICAP/4 ver8.x.11 Build2450 新しい機能および特徴

RefDes キャパビリティ:

自動の RefDes 再番号キャパビリティは SpiceNet に追加されました。したがって、標準の RefDes を使った全てのパーツ（キー文字番号、一つ以上の最終の文字）が左から右に番号が付けられます。

これは、スキマティックのトップから底まで実行されます。

このキャパビリティを使用した際、全体のスキマティックはユーザが追加の入力をすることなく番号が付けられます。しかし、アサインメントは undo できます。

注意：新しい自動の RefDes 用のオプションツールバーボタンが追加されました。

Show All Layers Toolbar ボタン:

現在のコンフィグレーションに含まれないレイヤのオブジェクトを一時的に確認することができる

オプションツールバーボタンが SpiceNet に追加されました。このボタンは、Customize Toolbar

ダイアログ内の Category プルダウン内の Edit リストに置かれています。あなたがツールバーにそれを置く場合、左マウスボタンを押している間に、それをクリックして下さい。含まれてないレイヤのオブジェクトは、ライトグレーファントムラインで表示されます。ボタンを放すと、ウィンドウはノーマルモードで再ドロウされます。この特徴の目的は、パーツ、ワイヤ等を置くことを確認できます。従って、コンフィグレーションが変更された際、これらの構成要素はコンフリクトしません。

パーツ配置ワーニング:

既存のパーツのトップで、正しくパーツを置いた場合、ワーニングメッセージが現れます。

プリンティングのためのピン番号フォント:

ユーザが 0.25mm から 1.00mm までの最小プリントライン幅を増加した通り、プリントするためピン番号フォントサイズは比例して増加されます。

Word におけるスケール表示:

Word にペーストされるスキマティックをスケールダウンする際、ワイヤ接続のドットは、最小プリントライン幅に比例します。これによって、それらが小さくなりすぎることを回避します。

B-element Properties ダイアログ:

B-element Properties ダイアログは ref-def の代わりにセレクトされ、ハイライトされた式での表示になります。

"Select file" ファンクション:

SpiceNet の File -> Save as あるいは Save copy を選択した際、現在のプロジェクト名は、簡単に編集するために自動的にハイライトされます。

Transparent Artwork:

Transparent artwork は穴があるので、その後ろのパーツをセレクトできます。

Item Characteristics on Artwork/Text:

Artwork 形状あるいはテキストで右マウスを実行でき Item Characteristics を選択できます。新しいポップアップメニューは以下を変更することができます。

Colors, Fill Type, Line Width, Arrow Heads, Text Font. これらのアクションは Undo できます。





改善された rubberbanding:

殆どのケースでは、パーツあるいは、rubberbanding の際ワイヤに沿ったパーツのグループをスライディングする際、SpiceNet の前のワイヤ配線は維持されます。

MakeDB:

MakeDB はパーツデータベース破壊を回避するためにスペースを含むライブラリあるいはシンボルパス名をスキップします。また MaKeDB ダイアログは、右下側をドラッグすることによってリサイズできます。これによって出力データを少ないスクロールでレビューできます。

SendScript による Scope の自動起動:

以前の SpiceNet では、Scope5 キーワードを含むテキストブロックで右マウスをクリックした場合、sendscript を選択し、IntuScope が閉じられていた場合、プログラムは音が鳴りました。ソフトウェアは自動的に IntuScope を起動し、目的のスクリプトを実行します。

新しい Footprint キャパビリティ:

1. Mechanical Properties ダイアログは現在、"Edit Foot Properites"とラベルされた"single footprint"に関連するボタンを備えています。全体のパーツが選択された場合、Footprint Picker ダイアログが表示されます。あるいは、Footprint Ping Assingment ダイアログが表示されます。
2. 右ボタンポップアップメニューも上ボタンのように動作する Edit Footprint アイテムを含みます。
3. Part Properties ダイアログは現在抵抗値あるいは容量のような定義されたピン出力でのパーツに抵抗あるいは容量のような全体のパーツを変更するためのキャパビリティを提供します。ユーザがダイアログのパーツ Type 値でダブルクリックし、footprint 名を指定した場合、メッセージは指定されたタイプがコンポーネント毎に複数のパーツを許可するかどうか尋ねます。実行した場合、フラグは設定され Footprint Picker より、Footprint Pin Assignment が表示されます
4. Component Database ウィンドウで選択を変更する際、適用しないデータは Footprint Picker ダイアログからクリアされます。また、リーフノードが選択されない限り Make Part Number 及び Verify Part Number ボタンはアクティブになりません。
5. Footprint Picker のパーツ番号へのエンコーディングコンポーネント値用コードは値を指定するために使用されるフォーマットにならない限り、常に同じ結果を提供することを保証するために訂正されました。また、それを生成した後でパーツ番号を有効とするためにユーザ依存というよりは、指定したパーツの制限は、値をエンコーディングする前にチェックされます。最終的に、コンポーネントがラウンドすることによって、あるいは他の理由で変更された場合、メッセージボックスによって通知され、変更を受理あるいは拒否するためのオプションが提供されます。

Command 及び Output ウィンドウのリサイズ:

現在、IntuScope のデュアルモニタシステムの補助モニタでドックから出されたフリーの Command あるいは Output ウィンドウをリサイズできます。

FFT の UNDO:

IntuScope の FET プロットの追加を現在 Undo できます。

ノイズスペクトル密度カーブ:

IntuScope は現在 "inoise" 及び "onoise" をカーブするノイズスペクトル密度を Volts²/hertz あるいは amperes²/hertz の単位で示します。





"Updating" の特徴の改善:

複数のトレースやプロットがある場合やアップデートするスクリプトがネストされた機能の呼び出しを含んでいる場合の、IntuScope のアップデート特徴の信頼性が改善されました。

【お問合せ先】

株式会社アイヴィス

TEL (045) 332-5381

FAX (045) 332-5391

Email support@i-vis.co.jp

HP <http://www.i-vis.co.jp>

